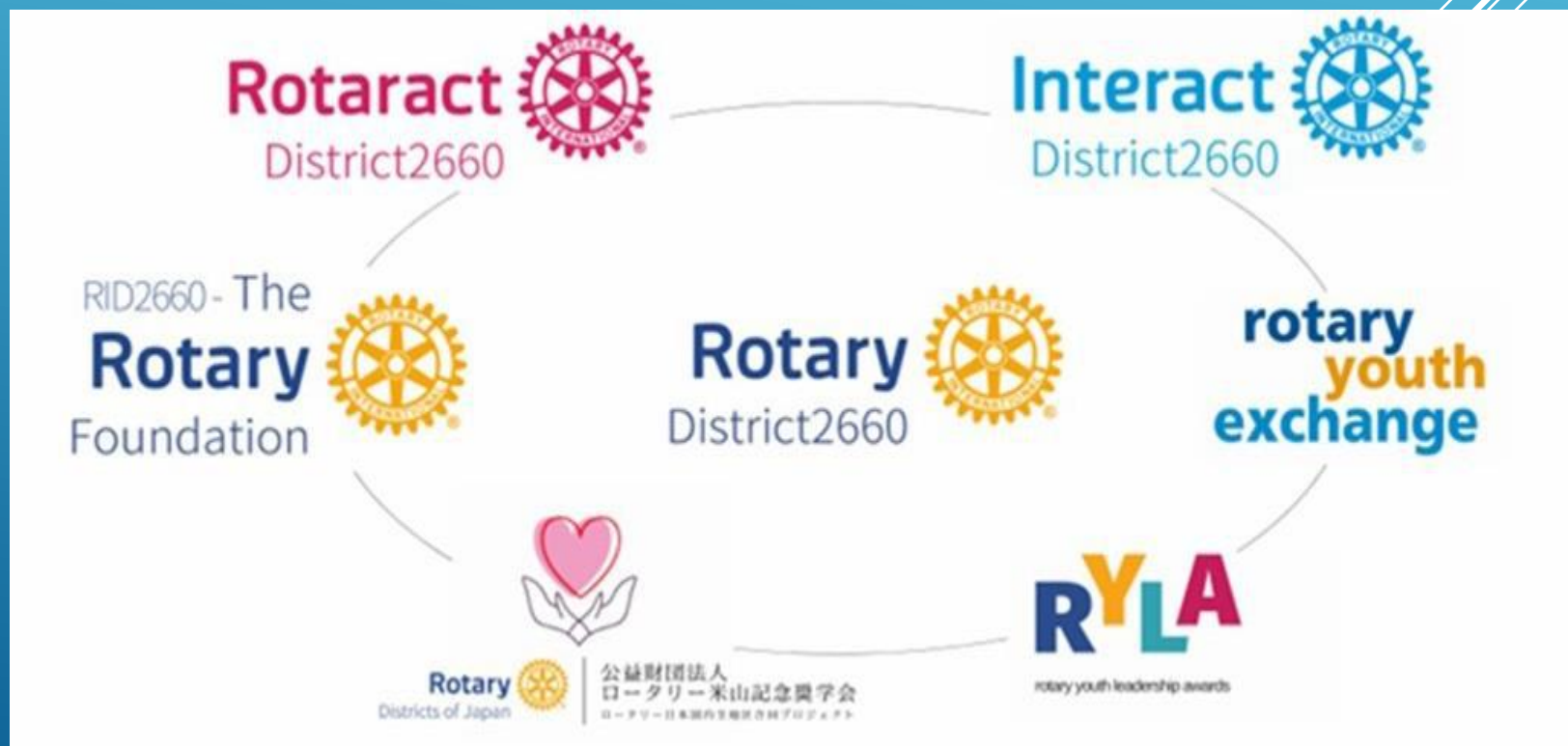


学友会の活動報告

(2025年青少年合同委員長会議)



春の学友会総会 (ZOOM)



学友会 春のBBQ交流会



BBQ交流会でのヒアリング

- ・ロータリーとの縁が薄くなってしまう現状よりは、年1度でも、家族も一緒に参加できる今回のような企画を地区で開催して欲しい
- ・自分の所属していたクラブを超えた地区で、開催して欲しい
- ・ロータリーと元ローターアクターとの繋がりを維持できよう、さらに、いずれは、その中から様々な形でロータリー活動を再開するチャンスが生まれるような環境を提供して欲しい

☆ 皆様へのお願い

各クラブで、卒業・修了された方がいらっしゃれば、お声掛けをして、関係性を繋ぎとめて頂く事を、ご検討下さい。

ex ロータアクトOBOG
米山奨学生の修了生など

- ・クラブの活性化になる可能性
- ・ロータリーファミリーの拡大
- ・自クラブにサポートして頂ける可能性
- ・自クラブへの入会の可能性

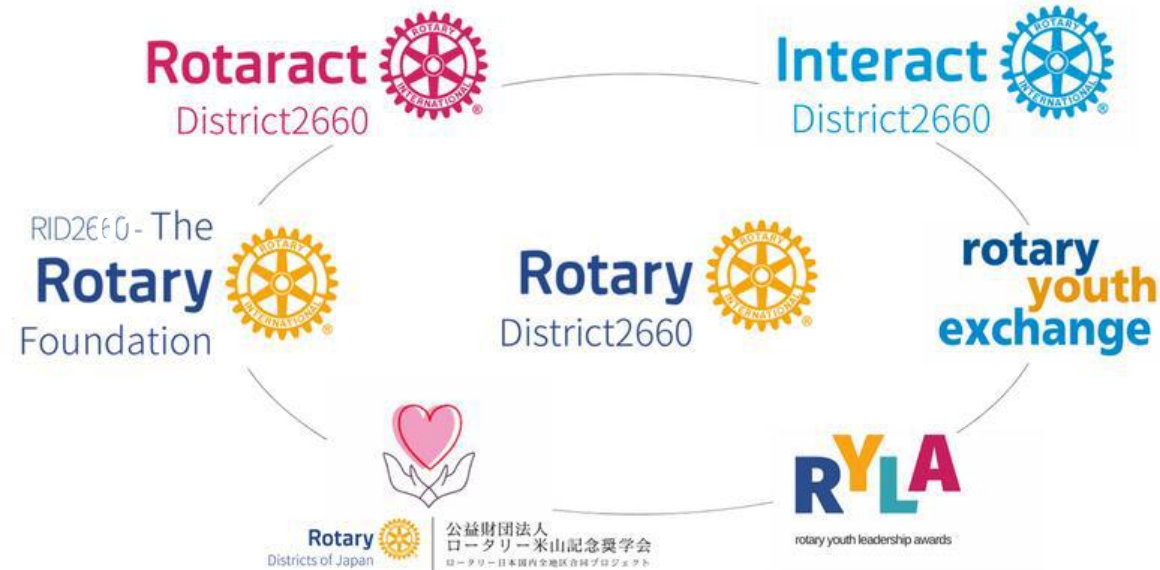
□ ー タ リ ー 学 友 会 活 動 方 針

2025-2026年度 学友会 会長 濱崎洋介

[自己紹介]

年度	役職
2020年11月	大阪北ローターアクトクラブ 入会
2021-2022年度	大阪北ローターアクトクラブ 会計
2022-2023年度	地区RA代表エレクト 兼 クラブ会長
2023-2024年度	地区RA代表
2025-2026年度	学友会 会長

[ローターリー学友会とは]



ロータリープログラムを経験したメンバーがつながる組織

各プログラムを横断して活動できる組織

[ロータリー学友会の課題]

①総会・イベント参加率の低さ

会員数は約300名超だが、総会などのイベントに参加する人数は5%ほど

②学友会組織の認知度の低さ

ロータリープログラム^さの卒業生・現役のメンバーが学友会の活動を認知していない。



[今年度方針]



①交流の活性化

気軽に参加できる場を増やす（
例：春の総会や奉仕活動）



②現役との架け橋

世代を超えた交流と支援
（例：卓話者紹介）



③魅力発信

卒業後も関わりたいと思える組
織に（例：SNS発信）